

第4回特別講演会報告

躍進経営の極意から手話講座、ベリーダンスまで。バラエティに富んだイベントとなりました。

コヤマドライビングスクール22年間の秘密がついに明らかに!

株式会社アイム代表取締役 長井和子氏

■コアターゲットは17才

当時の業界イメージ「暗い、こわい、ダサい」を「明るく、楽しく、お洒落な」教習所に。まず女子高生に向けてパバール君というキャラクターが誕生。そしてグループ4校の看板、教習車、ユニフォーム、印刷物などひとつひとつを「お洒落な」イメージに統一することから始めていった。

更に「教習所らしくない教習所」作りでマスコミの話題をさらい、年間100件に及ぶ取材。これは億単位の広告費に相当したという。

■最重要課題、かつ最難問は、社員意識の改革だった

本当に大変だったのはこの社内CIと企業の体質改善。ここで若い社員の意見をいかに吸い上げ、やる気を出させるかが勝負の分かれ目になる。さまざまな委員会活動や社員の提案による活発なイベント企画、さらにはE-AN BOXを設置し、だれにも知られず社長に意見を伝えられる仕組みを作るなど、実践的画期的な秘策が、具体例を交えて次々に披露された。

■値下げ競争に一線を画す。社員の提案による「差別化戦略」

日本初・唯一の英語教習や、障がい者教習、マナーコンテスト、国の基準を上回る子育て支援など、続々と打ち出される独自路線は、すべて社員からの提案。たゆまず続けてきた「社員意識の活性化」が実を結んだと言えるでしょう。

■聴覚障害者への規制緩和に向けて。最後はパバール君の手話講座

最後はパバール君に習って「右折」「運転教習」など教習に関する手話を全員でやってみる一幕も。来年の法改正に向けて、聴覚障がい者団体へのPRの提案など、終始、具体的な内容で、今日から実行できるヒント満載の講演でした。

楽勝問題とインストラクションレコーダーのデモは大人気!

講演開始前には楽勝問題のデモンストレーションを行いました。楽勝問題ではたくさんのお客様が脳トレなどにチャレンジされました。また、インストラクションレコーダー搭載車ではデジカメで撮影される方、熱心に質問される方など皆さん興味津々。マナーDVD、CVI、ボイスメット、ノベルティなどそれぞれのブースで熱心なやりとりが繰り広げられました。



経営の原点はお客様の声。躍進の極意はズバリ早起きと掃除

CoCo壱番屋 創業者特別顧問 宗次徳二氏

経営の極意はリーダーの率先垂範!

とばかり、店舗数1,129店を率いるCoCo壱番屋創業者、宗次氏の講演。躍進の秘密をご講演いただきました。

■起床時間は4時10分!

経営者時代の宗次氏は徹底した現場主義で、誰よりも早く店に出る。時間がある限り各店舗をまわる。毎日3時間半費やし、日に1,000通は届くというお客様のアンケートハガキには全て目を通し、その後全員で掃除。この早起き、掃除、現場主義が成功の鍵と言いつる。社長が率先垂範することで、2割の社員はついてくるという。

■人材は2:6:2に分かれる

最初の2は人財、6は人材。残りの2は人罪と書く。こういう人は余分な給料を払ってでもやめてもらうべきというのが氏の人材論。

■孤児からの成功列伝

宗次氏は肉親の愛情を知らずに育ったという。25才でCoCo壱番屋の前身の喫茶店をオープンしてから53才の完全リタイヤまで、経営一筋。個人的な楽しみは一切排除し現場主義を貫いてきた。誠実な、心が伝わる経営をしていれば、お客様の口コミで確実にビジネスは伸びていく。現在は芸術・スポーツを支援するNPO法人を設立、理事長を務める。また私財20数億円を投じ、クラシック専用の「宗次ホール」を建設。そこに行くまでの道路も早朝から草取りや花植えに励んでいます。どこまでも謙虚な成功者だ。



懇親会では驚きのアトラクションも?!

講演終了後はお楽しみの懇親会。毎回大好評の轟会(コヤマドライビングスクールの長期研修生)による交通〇×クイズに加え、今回はベリーダンスショーもプログラムに加わりました。セクシーな衣装に身を包んだ美しいダンサーに圧倒されました。セクシーすぎて目のやり場に困るほど。

大盛況の中、お開きとなりました。



特別講演会に参加して

大阪 ハ戸ノ里ドライビングスクール 副管理者 藤原 裕美

株式会社アイムの長井和子氏には、コヤマドライビングスクールさんが取り組んでこられた企業イメージの構築法(CI)について、具体的なお話を伺うことができました。早くからコアターゲットを絞り、校舎、マスコット、広告等、お客様に公開するもの全てに一貫性を持たせられた点、また社員の意識改革の方法等、大変興味深く拝聴致しました。

また壱番屋の創業者、宗次徳二氏のご講話では、リーダーの率先垂範の重要性を再認識でき、今回の特別講演会では、自己の人間性と会社のブランド力向上につながるヒントをいただくことができました。このような学びの場を与えて頂きましたこと感謝致しております。

